

## 「過去と現在」

図書委員 5年3組

毛利 朗人

皆さんは本が好きですか？ 朝の読書の時間に、きちんと座って本を読むことができますか？ なかには、あまり本を読むことが好きではなかったり、朝の読書の時間が始まって、本を読まずに他のことをしていたりして、読書がきちんとできていない人もいます。

別に「本を好きになれ」と強要しているわけではありません。ただ、本をたくさん読むことで、様々な世界と触れあうことができ、色々な体験ができると思います。それに、本を読むことで多くの知識を吸収し、知恵に変えることもできると思います。・・・と、本の素晴らしさについてここまで書いてきましたが、実を言うと、私は昔から本が好きだったわけではありません。本の魅力が分からず、本があまり好きではなかった過去の私のことを、皆さんにお話したいと思います。

まずは、小学生の頃です。私が通っていた小学校は、朝の読書の時間が20分もあり、また長期休業に入る前には、必ず3冊は借りなければならなかったため、本と触れあう機会は多くありました。しかし、私が手にとる本といったら、ほとんど、マンガになっている伝記ものや、日本の歴史シリーズなど、絵と文章がセットになったものでした。それでも、たまに絵のない本に挑戦したときは、分からない言葉や頭で想像することの難しい場面などが多々あり、本への苦手意識でいっぱいになっていました。

中学生になると（本校に入学すると）、環境ががらりと変わったため、最初はこの環境に慣れるのに必死でしたが、時間が経ち余裕が生まれると、昼休みは体育館に足を運び、友だちと汗を流していました。しかし、時々体育館の使えない日があったので、そんな時は図書館を訪れ、おもしろそうだなと思った本を手にとって読むようになりました。そして、図書館の本を借りて、朝の読書の時間に読むようになってから、小学生の頃にあった活字への苦手意識がとれたような気がします。

そして、3年生の1学期から現在までの2年間、図書委員会に所属しています。6年生になっても図書委員を続けようと考えています。最高学年になると、仕事も増え、責任も重大です。その自覚もあって、図書館にも、以前より頻繁に訪れるようになりました。図書館に来る回数が増えると、「この図書館にはどんな本があるんだろう」とか「毎月新しく入ってきた本は何か？」など本への興味も以前より湧いてきて、今では本が大好きになりました。新しく本を読み始めると、展開が気になり、休み時間やちょっとした休憩の時間でも読んでしまいます。特に、その本のクライマックス的な部分を読んでいると、その本の世界に引き込まれ、声をかけられても気づかないことがよくあります。そして、本を好きになり、たくさん本を読むようになった私に、少し変化が表れました。それは、語彙力と集中力が身についたことです。様々なジャンルの本を読んでいると、今まで「これ、何て言ったらいいんやろ？」と悩むことも多かったのですが、今では自分の考えをそのまま、相手に伝えることができるようになった気がします。また、集中力の面では、途中で集中力が切れて、うまく続かなかったことも、最後までやりきれることが増えてきました。

こういった経験のおかげで、さらに本に興味が増え、今では、「私は本が大好き！」とはっきり言えます。図書館に足を運ぶ回数が増えるだけで、本を身近なものに感じられ、興味も湧いてくると思います。ということで、皆さんも是非、頻繁に図書館に来て、本に親しんでください。

☆ 第67回読書感想文課題図書 ☆



- ・『牧野富太郎：日本植物学の父』 清水洋美【著】
  - ・『with you』 濱野京子【著】
  - ・『アーニャは、きつと来る』 マイケル・モーパーゴ【著】
- 《中学校（前期課程）》
- ・『水を縫う』 寺地はるな【著】
  - ・『兄の名はジェシカ』 ジョン・ボイン【著】
  - ・『科学者になりたい君へ』 佐藤勝彦【著】
- 《高等学校（後期課程）》

図書委員オススの本

『54字の物語』 氏田雄介【著】



3年2組 藤井 智也

この本は、表紙も面白いのですが、起承転結のテンポが早く、読んでも楽しいです。僕が一番面白いと思ったのは、「上司から『今までにない斬新なアイデアを出してくれ』と言われて部下が提出した企画が却下された。その理由は・・・前例がないから」ん？ たった54文字、されど54文字。ぜひ読んでみてください。（この『54字の物語』シリーズは、4冊あります。）

～新刊紹介～

- 『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』 Jam【著】
- 『シウマさんの琉球風水開運術！』 シウマ【著】
- 『軌跡のバックホーム』 横田慎太郎【著】
- 『安いニッポン『価格』が示す停滞』 中藤玲【著】
- 『いのちの停車場』 南杏子【著】
- 『おかあさん、お空のセカイのはなしをしてあげる！』 竹内文香【著】

- 『新 謎解きはディナーのあとで』 東川篤哉
- 【著】
- 『ぼくモグラキツネ馬』 チャーリー・マッケンジ
- ー 【著】
- 『おもしろい！進化のふしぎ ますますさんねんないきもの事典』 今泉忠
- 明 【著】
- 『なるにはシリーズ 国際学部』『なるにはシリーズ 経済学部』 三井綾子
- 他 【著】
- 『ルドルフとイッパイアッテナ』 斉藤洋
- 【著】
- 『ひとつむぎの手』 知念実季人
- 【著】